

## 特別シンポジウム「時代の変革期こそ応用物理分野を輝かせよう」 趣旨説明

Scope of special symposium “Let's make the field of applied physics shine in the  
transition period of society”

中部大学 °筑本知子

Chubu University °Noriko Chikumoto

E-mail: nchiku@isc.chubu.ac.jp

少子高齢化による労働人口減少・AI社会の到来・コロナとの共存など、時代の変革期を迎えている。一方、応用物理分野では、①企業ニーズが高いにもかかわらず応物関連分野の人材が不足している、②理工系の女性研究者数、理工系を選択する女子学生が依然として極めて少ない、という課題を抱えている。

本シンポジウムでは、ニューノーマルといわれる新しい時代を迎えつつある今、これらの問題に学会として何ができるか？について考えていきたい。

講演では、まず、なぜ理工系の女性が少ないか、なぜ増える必要があるのか、そもそもなぜ文系と理系がかくも分かれてしまっているのかなど、歴史的な経緯を踏まえて、今後に向けてどうしたら良いのかをお話しいただく予定である。続いて、「中高生に応物分野の魅力を伝えるための方策」、「応用物理学会における取り組み」、「応物分野の企業における女性研究者の採用と活躍」について、ご講演いただく。

パネルディスカッションでは、パネリストとして平本俊郎氏（東京大学・応用物理学会副会長）、黄晋二氏（青山学院大学）、國井稔枝氏（パナソニック）、橋本信幸氏（元シチズン時計）、藤井茉美氏（奈良先端科学技術大学院大学）の5名を迎え、次世代の人材育成のために学会に何を期待するのか／学会ができることは何か、企業人にとっての学会の意義、コロナ禍により急速にすすんだオンライン化がダイバーシティの推進にどう影響しているのか、などを議論する予定である。